

## 大学生からのメッセージ

### 「成功しなかったから得られたこと」

琉球大学 農学部 亜熱帯農林環境科学科 4年

大竹 芳樹

気づけば大学に入学してから早3年が経ちました。慌ただしい大学生活だったからなのか、それともハッキリとした四季のある北関東から飛び出し、周年温暖で季節の移ろいを感じにくい沖縄で過ごしていたからなのか、いつの間にか大学生活の最後の年になってしまっている事実を未だに受け入れられずにいます。

思えば大学に入学してからというもの、コロナ禍による活動減少でジャングルになった圃場で、ウタイチェーンやその餌になる在来昆虫を小屋で大量養殖し、作物栽培と組み合わせた循環型農業の実現を目論んだり、2年生の際にお世話になった研究室で研究の楽しさを知り、大学教員を夢見て2年生から研究に取り組むことを計画したり、沖縄の自然と農業をPRするYoutuberになろうと1本動画を投稿してみたりと挙げてないものも含め様々なことに挑戦してきました。

恥ずかしながら、その全てが結果的には失敗あるいは計画段階で頓挫する形で目標を達成することなく終わってしまいましたが、学生としては非常に実りのある3年間だったと感じています。むしろ全ての挑戦が失敗に終わって良かったと今では思うほどにこの結果に満足しています。

発明王として有名なエジソンの言葉で、「Failure teaches success」という言葉があります。直訳すると、「失敗は成功を教える」ですが、「失敗は成功の母」と訳されることもあり、天才的な発明で失敗することなく成功したのではなく、数え切れないほどの失敗から多くの学びを得て成功した方だからこそ出た言葉であり、どんな挑戦をする上でも成功に導く上で重要な考え方だと思います。

挑戦の全てを目標の未達成という点では失敗に終えた3年間でしたが、その挑戦の中で自分自身の能力の不向きに始まり、高校の部活の顧問のような絶対君主のいない、ある意味全員が対等なサークルで人をまとめ、動かす方法、将来活動を引き継ぎ、引っ張っていく後輩をどう育てるかなど、挙げればきりがありませんが、なかなか成功しない歯がゆさから、数多の失敗や小さな成功の経験から、少しでも多くのことを学ぼうと躍起になって「なぜ上手くいかないか」を突き詰めていました。もし、運良く挑戦が上手くいって成功していたら、慢心からその結果について深く突き詰めようとはしなかったでしょう。だからこそ、私のこれまでの大学生活での多くの学びは、「成功しなかったから得られたこと」だと考えています。

拙い文章で長々と話しましたが、読んでくれている学生としては、私とは違ってまだ1年以上も大学で挑戦できる時間を有している方が多いと思います。失敗だらけの敗北者の私に言われるのは不服かもしれませんが、どうか失敗を恐れずに挑戦し続け、その度に得られた結果について深く突き詰めていき、大学生または社会人になってからの成功へと繋げていって欲しいと思います。

結果も大切ですが、それ以上にその結果から何を学ぶのが大切です。私自身もその思いで残りの大学生活、そして卒業後の社会人生活において、成功を見据えた挑戦を続けていき、数え切れないほどの失敗を学びに変えていきたいと考えています。

## □ 常西合口用水(富山県富山市)

常西合口用水は、明治時代に常願寺川左岸の12の用水を合せて出来た延長約12kmの用水路で、かんがい面積は約3,300haに及び、全国で疏水百選にも選定されています。石積護岸、植樹、プロムナードなどが整備されており、美しい眺めで安らぎのある用水となっています。



富山県富山市にある「常西合口用水」には富山地方鉄道上滝線上滝駅から徒歩15分ほどで到着します。常願寺川の治水の歴史は、古く1580年(安土桃山時代)まで遡ります。織田信長の家臣として越中(今の富山県)を治めていた佐々成政公は、氾濫がおきたばかりの常願寺川を整備し、大きな石を集めて堤防を造りました。その堤防の一部は今も常西合口用水路に残されています。2020年に「世界かんがい施設遺産」として富山県内で初めて登録されています。

常願寺川は、北アルプス立山連峰を源として、富山湾に至る急峻な河川です。春の雪解けから秋にかけて昔から農業用水だけでなく、生活用水としても活用されてきました。しかし、一度大雨が降ると一気に水かさが増え、氾濫を繰り返してきました。

これを防ぐため、常願寺川左岸にある取水口12箇所を廃止、上流に合同取水口を設置する「用水の合口化」という大工事が行われ、現在の安定した取水に繋がっています。用水の両側にある遊歩道からは、春には桜並木と豊かな水の流れ、遠くに薬師岳を眺めることができます。



新庄の赤門(新庄排砂水門)

同用水の下流では洪水により流れ込む土砂対策として、1900年(明治33年)に新庄排砂水門が造成されました。同水門は赤レンガで構築され、長年にわたり地域住民から親しまれています。北陸新幹線が福井県敦賀まで延伸し、北陸へのアクセスがより便利になったことから、一度訪れてみてはいかがでしょうか!!



ねぎたん!!

富山県と言えばコメの他に白エビやホタルイカ、寒ブリといった海の幸が有名ですが、野菜や果物など四季折々の山の幸も豊富です。例えば、夏にそうめんの薬味などに使われる「ネギ」ですが、一度に食べきれないサイズが欲しいという消費者の要望に応じて、ミニ野菜「ねぎたん!!」の生産が広がっています。

「農業利施設等を見に行こうよ助成事業」の参加者を募集しています。  
—お得な助成金を使って、友達同士で見学旅行に行きませんか—

## 1. 内容

大学生のみのグループによる農業水利施設等（歴史的農業水利施設、ダム、棚田等）の見学に要する交通費等を助成する。周辺の観光地もあわせて見学可能です。また、本紙で紹介している「行こうよ！水土里の旅！」の施設も見学可能です。

## 2. 見学施設場所

大学が所在する地方農政局管内の「指定の農業水利施設等の施設」※

※（一財）日本グラウンドワーク協会のHPをご覧ください。

## 3. 対象者 以下のすべての条件を満たすこと

○大学農学部系1、2年、3年、4年、M1、M2の学生

○専攻未選択の学生、または、既に専攻が決まっている学生は農業農村工学系を選択し

ている学生。

○1グループの参加人数:3人以上。必ず1年生または2年生が1人以上参加すること。

## 4. 見学費用への助成金

1グループ40,000円以内

①交通費:実費

1)公共交通機関利用の場合:大学所在地～現地施設最寄りの駅までの交通費

2)レンタカー利用の場合:レンタカー代、ガソリン代、保険、高速道路料金

②昼食代:1人1,000円以内 ③国内旅行保険:1人500円以内

## 5. 申込期間

令和6年5月1日～令和7年1月31日

※助成金がなくなり次第終了となります。

## 6. 見学に係るケガ、事故は自己責任

## 7. レポートの提出

見学後、各自レポートA4版3枚(含む写真)以上を提出

(注)レポートは、冊子等により配布する場合がありますので、ご了承ください。

## 8. 申込先

一般財団法人日本グラウンドワーク協会にお問い合わせください。

[TEL:03-6459-0324](tel:03-6459-0324)

E-mail:nakazato@groundwork.or.jp

【参考】(令和3～5年度参加者の所属参加大学及び参加人数126名:参考)

弘前大学、宇都宮大学、筑波大学、千葉大学、東京大学、明治大学、信州大学

石川県立大学、三重大学、京都大学、岡山大学、九州大学、宮崎大学、琉球大学

# 農業土木技術—プロの仕事

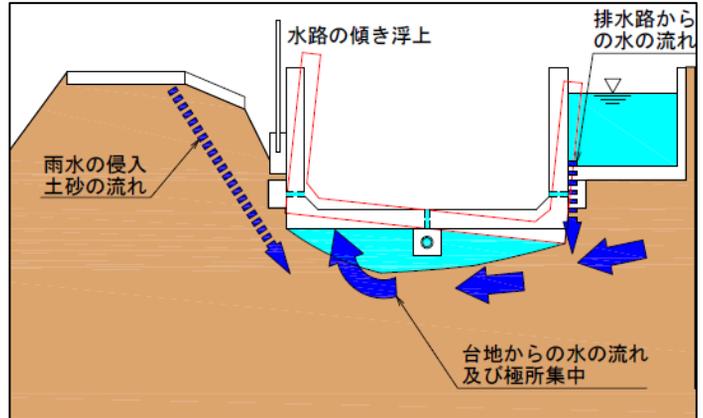
農業土木に関連する企業・団体が日々の業務で取り組んでいる技術情報を紹介する「農業土木技術—プロの仕事」。今回は造成後40年以上経過した用水路が浮上したため、その原因を究明し対策工の検討を行った事例をご紹介します。

## 1. 用水路の浮上とその原因究明

当時の設計では想定していなかった大雨が降ったことで、地下水位が上昇し、対象水路が浮上・傾斜しました。



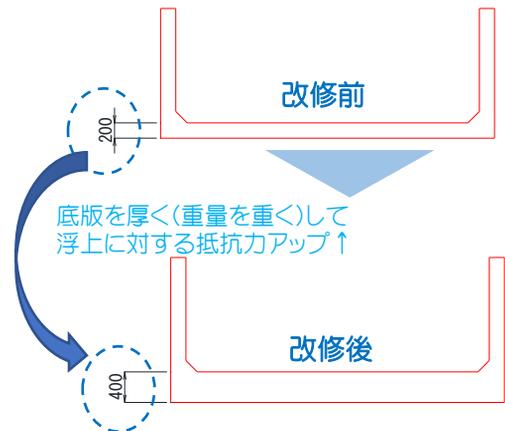
水路が浮上して傾斜  
(流水が右側に寄っている)



## 2. 対策工の検討

水路の浮上抑制対策には、水路底版に張り出しを設けたり、部材を厚くするなどの方法があります。

今回は用水路の横に排水路が隣接していることから、張り出しを設けるのではなく、底版を厚くすることにしました。



## 3. 対策工事の状況



元の水路を撤去



新しい断面で水路を施工

設計コンサルタントの仕事は主に設計、図面作成までですが、今回のように応急対策工事として、すぐに工事が行われ設計箇所が実際に構造物として見えるようになることも楽しみの一つです。

### ■ 神戸大学に大学生サークルを設立しました。

一般財団法人日本グラウンドワーク協会は神戸大学の学生に呼びかけ、農業農村を応援する大学生サークル「地域おこしサークル水芭蕉」を設立しました。

これは協会が養父市役所(兵庫県)から地域活性化のために大学生の応援が欲しい旨の依頼を受けたことによるものです。当協会は近畿地域に連携している大学生サークルがないことから、神戸大学の協力(学生募集、講義室確保等)をいただき新たに大学生サークルを設立しました。

設立方法は当協会の中里良一理事長が、「大学生のみなさん！農村を応援しませんか」というテーマで講義を行い、大学生(若い人)が地域おこしに関わる重要性を理解してもらい、聴講した学生の中で希望する学生でサークルを設立しました。部員は18名。

### ■ 神戸大学地域おこしサークル「水芭蕉」と養父市役所とのマッチングを行いました。

養父市役所(兵庫県)から一般財団法人日本グラウンドワーク協会に「大学生サークルと農村マッチング事業」※の依頼があり、神戸大学地域おこしサークル水芭蕉と岡崎市役所とのマッチングを行いました。

マッチングでは養父市役所から大学生に対して、地域おこしのために応援して欲しい活動内容(棚田での農作業、農産物加工、耕作放棄地有効活用方策等)が説明され、意見交換が行われました。

今回のマッチングの結果、養父市役所が希望する活動に対して神戸大学地域おこしサークル水芭蕉が応援することになりました。

養父市役所は、地域と神戸大学地域おこしサークル水芭蕉との連携活動を推進するために令和6年度に新規予算を確保して、当協会に推進支援の業務委託を行いました。

※「大学生サークルと農村マッチング事業」とは、地域おこしのために大学生の応援が欲しい行政、地域おこし団体等と、農業農村の応援を目的とした大学生サークルをマッチングする取組。



サークルの代表・副代表



意見交換風景

## 「農業農村を応援する大学生サークル」の活動紹介

### ■信州大学 村づくり応援隊

信州大学農学部発のサークルです。農学部のキャンパスは、中央アルプスと南アルプスを臨む風光明媚な伊那谷にあります。

また所在地は南箕輪村であり、学生の一部は村民として暮らしています。なんと標高は約770mで、国立大学の中で最も高いです！私たちはそんな自然豊かな環境の中で畑作業とボランティア活動を行っています。去年は農学部の文化祭である「落葉松祭」に出店し、南箕輪村産のサツマイモを使用した芋けんぴを販売しました。

主なボランティア活動は南箕輪村のイベントである「まっくん田んぼ体験隊」の企画運営に携わっています。また、今年の夏からinadani seesさんで作られたコンポストを使って野菜を育てる予定です！



キャンパス近くの畑を借りて近所の方々に協力して頂きながら野菜を育てています。

まっくん田んぼ体験隊のボランティア活動の様子です。信大生考案のレクリエーション「色探し」を行い、小学生たちと交流しました。



### 「農業農村を応援する大学生サークル」の活動状況(Instagram)

□日本グラウンドワーク協会公式公式Instagramにアップしています。

<https://www.instagram.com/groundworkassociationjp/>

[発行・お問合せ先等] 一般財団法人日本グラウンドワーク協会 中里

Tel:03-6459-0324 Mail:[nakazato@groundwork.or.jp](mailto:nakazato@groundwork.or.jp)

グラウンドワークとは「協働で地域をよりよくする」という意味です。当協会は、「中間支援団体」として①地域活性化、②環境保全、③福祉、④棚田保全等社会的課題解決を目的に、若者(大学生等)参加及び男女共同参画による協働を主軸にした、いわゆる「日本型グラウンドワーク」を推進しています。